

事業番号	05 08 24	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	信濃学園運営費			担当課	部局	健康福祉部	
					課・局・室	障がい者支援課	
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	shogai-shien@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	6－2 いきいきと安心して暮らせる社会づくり 2 障がい支援の充実		実施期間	S26 ～		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針						
	施策展開						

1 事業の概要

目指す姿	・県内唯一の福祉型障害児入所施設としてセーフティーネットの役割を担い、利用者個々の障がい特性に即した専門的な支援を行い、その適切な発達を促すとともに、施設退所後の地域等における自立した生活に向けて切れ目のない包括的な支援を行う。 ・在宅で生活する障がい児及びその家族に対しても、当施設の専門的機能を生かして、その抱える課題やニーズに対応した支援を行う。	
現状（予算編成時）	・重度の障がい家庭での療育が困難な児童や虐待待児童等の入所ニーズが増加している一方で、グループホームなど施設退所後の受入先の確保が難しく地域生活への移行が課題となっている。 ・在宅障がい児の療育等に不安を抱える保護者に対する適切な支援が求められている。	
県が関与する理由	県でなければ実施不可（その他）	【左記の説明、根拠法令等】 重度の障がい児や虐待待児の受入れ等、県内唯一の福祉型障害児入所施設として、セーフティネットの機能を果たす必要がある。
	県民との協働による実施：実施は困難	

成果目標・事業内容	① 成果目標（H28）				
	・利用者及び保護者の満足度調査85%（利用者満足度調査の総合評価） ・在宅障がい児への療育支援「こまぐさ教室」参加者数：80人 （設定理由：H24年度（72人参加）以前をベースに算定した（H25年度～H27年度は特別企画を実施）。）				
	② 事業内容（単位：千円）				
	項目	実施方法	H28事業実績		
				H28（当初）	H28（決算）
				H28（当初）	H29（当初）
	指定管理委託料	指定管理	信濃学園の管理運営を指定管理者（（社福）長野県社会福祉事業団）に委託。	169,933	169,933
	指定修繕委託料	指定管理	老朽化した鉄扉を軽量のシャッターへ更新。	5,444	4,655
	ボイラー更新設計委託料	直営	老朽化したボイラー工事の設計委託。	1,599	1,588
	乾燥機更新	直営	老朽化した乾燥機の更新。	1,351	584
汚物除去機更新	直営	老朽化した汚物除去機の更新。	1,251	594	
遊戯具更新	直営	老朽化した遊戯具の更新。	987	972	
備品購入				988	
第三者評価委員会				91	
	合計		180,565	178,326	

事業コスト	区分（単位：千円）		27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28			H29目標
		当初予算	149,210	180,565	205,600				目標	成果	達成状況	
		補正予算	43,726									
		合計（A）	192,936	180,565	205,600							
	Aの財源	一般財源	162,326	141,979	164,041	利用者満足度	90%	—	85%	88%	達成	—
		県債			5,000							
		国庫支出金	29,388	35,295	35,295							
		その他	1,222	3,291	1,264							
	決算額（B）		192,703	178,326								
概算人件費	職員数（人）	0.50	0.50	0.50	こまぐさ教室参加者数	150人	153人	80人	154人	達成	—	
	概算人件費（C）	4,138	3,957	3,957								
概算事業費（B（A）+C）		196,841	182,283	209,557								

目標に対する成果の状況	・「利用者満足度」については、個々の利用者ニーズに沿った個別支援計画による支援を行っており、利用者満足度は目標に達することができた。 （H27年度は3年に1度実施する福祉サービス第三者評価事業で調査したため未集計） ・「こまぐさ教室」は、児童福祉施設への広報を積極的に行った結果、目標を上回る参加者があり、在宅障がい児の様々な療育相談に対応することができた。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	・個別支援計画による利用者支援や地域移行も含めた適切な支援を利用者が受けられるように、引続き民間能力を活用した効率的で効果的な運営を行っていく。